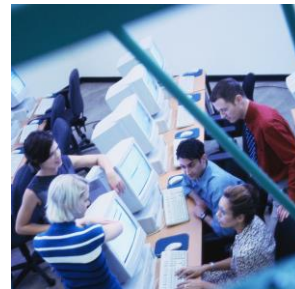


## ICTを活用した教育改善について考える(2)



企画：札幌学院大学電子計算機センター／札幌学院大学 FD センター

日時：2013年12月17日(火) 16:30～18:00

会場：B302 教室

対象：本学の教職員(事前の申し込みは不要です)

今回のFD研究会は、本学においてiPad等のタブレットPCを講義等に活用・実践されている皆川雅章先生(社会情報学部)、石川千温先生(経営学部・FDセンター長)の事例発表を題材に、学生の“学びへの意欲”を喚起し、“主体的な学び”を支援するICT(情報コミュニケーション技術)の意義について理解を深め、実践にあたって解決すべき課題を認識する時間にしたいと思います。

### プログラム概要：

16:30～16:35 インTRODクシヨン(開催趣旨)

16:35～18:00 事例発表・質疑応答

- 1) 皆川雅章氏(社会情報学部) 16:35～16:55
- 2) 石川千温氏(経営学部・FDセンター長) 16:55～17:15
- 3) 質疑応答

### 獲得目標：

- ・ 学生の“学びへの意欲”を喚起し、“主体的な学び”を支援するICT(情報コミュニケーション技術)の意義について理解を深め、実践にあたって解決すべき課題を認識する

### 報告概要1：皆川 雅章氏(社会情報学部)

黒板・教材提示装置の代替手段としてのiPad活用——講義時の機器活用は、講義の目標、使用する教材、教室規模、そして使用効果を考慮する必要がある。本報告では、数十人規模のクラスで学生にノートを取らせながら講義を進行し、基礎力の充実を図るために演習問題を解かせ、テキストを使って説明を行うという講義進行方法の中で、黒板・教材提示装置の代替手段としてiPadを活用した事例を紹介する。

### 報告概要2：石川 千温氏(経営学部・FDセンター長)

2011年度から始まった経営学部の「メディア応用論」では当初からグループ学習スタイルの授業を実践しており、2013年度は新たにiPad miniをグループ毎に1台ずつ貸し出し、教員から提示されたテーマに即した資料の入手や議論の整理に利用するほか、最後のグループ発表を行うツールとして活用した。本発表では、2012年度までの授業とiPad導入以後の授業との比較を行いながら、グループ学習におけるiPad導入の効果を検証する。

### 当日は、タブレットPC(iPad mini)を数台用意いたします。

今年度、積極的に授業改善に取り組もうとする教員の動機づけを促すとともに、実践の中から得たノウハウや知見を全学的に共有することによって、大学全体の教育の質向上を図ることを目的とし、「FDを推進するための活動補助事業」を行っております。本事業の募集をおこなったところ4件の申請があり、このうち2件の取り組みのため10台のiPad miniを購入しております。本研究会にはこのうち数台を用意いたしますので、実際に使用して使い勝手やご担当の講義に適しているか等、お試しいただければと思います。

